

考え続けてきた「ふつう」の本質。15年にわたる連載がついに書籍化。

プロダクトデザイナー 深澤直人 最新刊『ふつう』 7月10日（金）全国発売

この度、D&DEPARTMENT PROJECT (商号：ディアンドデパートメント株式会社) は、プロダクトデザイナー・深澤直人氏による「ふつう」をテーマにした15年にわたる連載を書籍化しました。2020年7月10日（金）に全国発売となります。

この連載は、2005年から2008年にかけて刊行した「ロングライフデザイン」をテーマにした隔月刊の小冊子『d long life design』内からスタートし、その後、2009年からは、デザイントラベルガイド『d design travel』内での連載へと引き継がれています。

「ふつう」をテーマにデザインをする深澤氏は、連載「ふつう」の中で、皿、カトラリー、グラス、カッター、イス、クルマ、犬、音楽、歌番組、蕎麦、制服、みやげもの、高層ビル、川、人の表情…と、生活の中にあるさまざまなものや、自身が具体的に体験したことを起点に、「ふつう」を掘り下げてきました。

本書では、これまでの連載44本に加え、新たな書き下ろし5本と、日常からかけ離れたコロナ渦の最中で同氏が感じたことが綴られるテキスト、そして『d long life design』『d design travel』発行人のナガオカケンメイによる同氏へのインタビュー記事も収録しています。

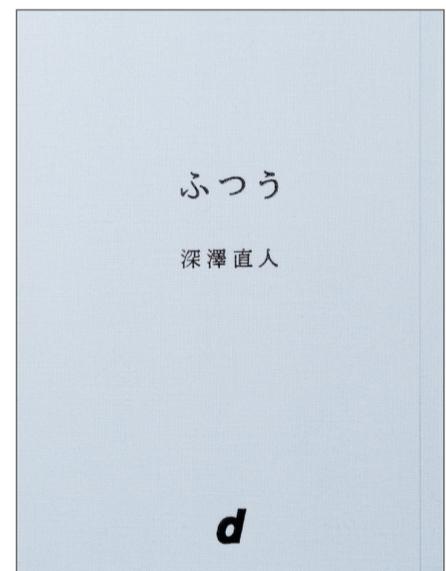
ブックデザインは、深澤氏が、20年以上考え続けてきた「いいふつう」を体現できるようなものを目指し、表紙は「素」の良さが感じられるよう、布で裁ち落としに。生地は、書籍用の既存の布素材ではなく、広くファッションの素材から探し選び出しました。今回使用している淡い水色の布地は、平織りの綿布です。手にしたときの「素」のよさ、経年変化もお楽しみください。

深澤直人『ふつう』 概要

- 著者 深澤直人
- 定価 2,300円+税
- 出版元 D&DEPARTMENT PROJECT
- 発売日 2020年7月10日(金)
- 様式 横120mm 縦158mm 背幅25mm 並製（表紙：布貼り、箔押）総456ページ
- ISBN 978-4-903097-62-6

深澤直人（プロダクトデザイナー）

卓越した造形美とシンプルに徹したデザインで、国際的な企業のデザインを多数手がける。電子精密機器から家具、インテリア、建築に至るまで手がけるデザインの領域は幅広く多岐にわたる。デザインのみならず、その思想や表現などには国や領域を超えて高い評価を得ている。英国王室芸術協会の称号を授与されるなど受賞歴多数。2018年、「イサム・ノグチ賞」を受賞。多摩美術大学教授。日本民藝館館長。naotofukasawa.com



———皮肉なものです異常な時でないといふふつうの良さはよくわからないということなのです。（中略）私はデザイナーですから、スペシャル（特別）を求められます。ですが、ふつうの日々でふつうを語ることはスペシャルを語ることでもあるのです。

2020年4月 緊急事態宣言下で書かれた、本書「『はじめに』の前に」より

関連リンク一覧

- ・『ふつう』オンライン購入：<https://www.d-department.com/item/2018000100098.html>
- ・本書発刊によせてーナガオカケンメイ：https://www.d-department.com/item/DD_TEXT_REPORT_20959.html
- ・「『はじめに』の前に」特別公開：https://www.d-department.com/item/DD_TEXT_REPORT_20959_21094.html
- ・「あとがき」特別公開：https://www.d-department.com/item/DD_TEXT_REPORT_21453.html
- ・布表紙の話：https://www.d-department.com/item/DD_TEXT_REPORT_21314.html
- ・メディア関係者様向け提供画像ダウンロード：<https://bit.ly/388kbof>

— 見本誌のご希望ほか本件に関するお問い合わせ —

D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水 Tel: 03-6427-2301 / pr@d-department.jp